

最新の超音波診断装置を導入しました

以前の装置よりも鮮明に描出されるため、より深部まで観察出来るようになりました。

超音波検査は、形態診断や血流の流れる方向、流速などを測定し、その情報をモニター上に表示する事が出来ます。

当院では、心臓、腹部、副甲状腺（甲状腺・頸動脈）の診断を行っています。

最新型フルデジタル超音波診断装置



LEDバックライト搭載モニター採用により、診断画質が向上しました。

最新のアプリケーションを搭載し、高品質な診断のサポートを可能とします。

超音波検査は安全で痛みなく受けて頂けます

柏友千代田クリニック

当クリニックは**16列マルチスライスCT**を導入しました



医療機器整備の一環として、1回転で16断面の撮影が可能な最新型マルチスライスCTを導入しました。「短時間」「高画質」「低被ばく」検査が可能です。詳しくは医師または診療放射線技師におたずね下さい。

よりよい診断が可能です

精密な情報を取得

マルチスライスCTスキャナによって精密な情報を得ることが可能になりました。胸部・腹部・頭部などの全身領域の検査に有効です。

様々な画像診断が可能

多断面撮影によって断層像のみならず、任意方向からの観察や立体像の作成が可能ですので、診断能が飛躍的に向上します。

負担の少ない検査が可能です

撮影時間が短縮

従来のCTスキャナと比較して、撮影時間は大幅に短縮可能です。高速検査によって患者様のご負担を軽減します。

放射線被ばくが低減

被ばく低減に有効な最新技術を搭載していますので、被ばくを大幅に低減でき、かつ造影剤量の低減も可能です。

医療法人柏友会 柏友千代田クリニック